

●創立者 水田三喜男について

本学の創立者水田三喜男は 1905 年（明治 38 年）、千葉県安房郡に生まれ、安房中学から水戸高校を経て京都大学法学部に進みました。学生時代は反戦・反軍の学生運動に参加し、新しい社会づくりのために情熱を燃やす若者でした。1946 年（昭和 21 年）には戦後初の衆議院選挙で初当選し、以来 30 年にわたって議員を務め、通産大臣・大蔵大臣を歴任し、日本の経済復興と成長に尽力したことは高く評価されています。一方、若き日に小学校の教壇に立って以来、「教育」に対する熱意も大きく、「国をつくるためには、優秀で、人間としての魅力にあふれた人材を育てなければならない」と考え、義務教育費や文教施設費の国庫負担や私学助成の事業にも力を注いできました。そして、1965 年（昭和 40 年）4 月に城西大学を創立し、その教育に対する夢を実現したのです。



●創立者水田三喜男の想い

- ①大学を創設し「国家社会のよりよき形成者としての人材の育成」に貢献する。
- ②教育は永遠です。人作りこそ次の世代の日本を形成する。未来の日本を作る仕事程意味深いものはない。大変かもしれないがやってみたい。
- ③日本の国民は、これから国際社会で尊敬される国民にならなくてはならない。
むずかしい学問はともかくとして、取りあえず、
 - ・正直であって嘘を言わないこと
 - ・自分のことばかりでなく他人のことも考えること
 - ・親を大切にすることこの3つのことだけでも身につけて国民性とみられるようにでもなったら大したことである。
- ④水田三喜男先生の終生座右の銘「偽^{いつわ}らず・欺^{あざむ}かず・諂^{へつら}わず」

●教職員・学生に期待すること(創立者 水田三喜男の言葉より)

- ①**実社会**において、その**応用能力を發揮**するための**思考力と実践力**を身につけることを主眼として学生の教育に当たっている。 (「建学の精神」)
- ②**智と和を一体**とした**熱意ある指導**のもとに、**高き理想**をもち、**真理と正義**にひたむきで、**英知と人間愛と勇氣**に充ち、**精神的推進力**を持った**現下社会の要求する有用な人材**の育成を目指して、特色ある学風を創り、**国家社会の発展**に寄与したいと念願している。 (「建学の精神」)
- ③人間の形成は完成された環境の力にのみ求め得られるのではなくて、**新たな環境を作り出さんとする苦悩と努力の力**にこそ求められるものである。 (第1回卒業式告辞、昭和44年)
- ④他人によってつくられ、他人によって与えられた環境であると思うところに、不平と不満は起るものでありますが、**自分の手によってこれから新たに創らるべき社会**であると観ずるならば、諸君の学びとった経験と自覚は常に諸君を勇氣づけるものとなる。 (第1回卒業式告辞、昭和44年)
- ⑤他校の卒業生に比べて**態度が謙虚**であること、**てらいや威張がなく**て**勤労をいとわず**、**明朗**で人に好かれるという好評をすら多く得ております。 (第8回卒業式挨拶、昭和51年)
- ⑥**開拓者の自覚**を持ちつづけられ、これからの自分の**環境社会のために**、**自分自身の御家庭のために**、特にこれから何万人にもなろうとする**母校の後輩卒業生のために**、**頑張**っていただき度いと存じます。 (第8回卒業式挨拶、昭和51年)